

E 普及・参考事項並びに試験研究の成果

1. 平成 17 年普及奨励事項、普及推進事項、指導参考事項、研究参考事項並びに行政参考事項

平成 16 年度北海道農業試験会議(成績会議)において、当年度までに完了した試験研究成績について、普及、研究、行政に提供される事項を決定した。そのうち、当場が担当または分担した提出課題(農業資材・農業機械性能調査関係課題を除く)は次のとおりである。

(1) 普及奨励事項

ー優良品種候補ー

○おとう新品種候補「HC1」(作物開発部果樹科)

(2) 普及推進事項

ー推進技術ー

○道央転換畑における根粒着生不良大豆への窒素追肥による収量・品質改善(技術体系化チーム)

○集出荷コストの低減に向けた物流 ABC 分析の活用法(生産システム部経営科)

○小豆の機械収穫早限と乾燥調製特性(生産システム部機械科)

○小麦のデオキシニバレノール汚染低減のための乾燥調製法(生産システム部機械科・クリーン農業部病虫科、十勝農試栽培システム科)

○転換畑における土壌物理性に起因した大豆生産阻害要因の解明と改善指標(農業環境部環境基盤科)

○普通畑およびたまねぎ畑における地下水中硝酸性窒素の削減対策(農業環境部環境保全科等)

○エライザ法による生麦のデオキシニバレノール分析技術(農産工学部農産品質科・クリーン農業部病虫科)

(3) 指導参考事項

○プルーンとブルーベリーの品種特性とプルーンの摘果効果(作物開発部果樹科等)

○生食用「種なしぶとう」の垣根栽培(作物開発部果樹科)

○水稻直播栽培の導入定着の課題と経済的条件(生産システム部経営科)

○強粘質土壌転換畑における大豆の播種同時耕盤破砕技術(生産システム部機械科・上川農試畑作園芸科)

○衛星リモートセンシングによる秋まき小麦子実蛋白含有率の推定技術(生産システム部水田農業科等)

○衛星データと地理情報システムを用いた高精度な水田圃場図の作成法(生産システム部水田農業科等)

○農耕地土壌の化学性からみた作物のカドミウム汚染リスク評価法(農業環境部環境保全科)

○秋まき小麦のタンパク質含量および糊化特性に基づく加工適性(農産工学部農産品質科・北農研センター畑作研究部 品質制御研究チーム)

(4) 研究参考事項

○テンサイそう根病抵抗性を誘導するウイルス由来遺伝子の発現と機能解析(農産工学部細胞育種科、遺伝子工学科、岡山大学)

○道産大豆の豆腐加工適性(硬さ)の簡易評価法(農産工学部農産品質科)

(5) 行政参考事項

○ほ場整備機械作業による透排水性低下を回避する土壌管理指標と改善対策(農業環境部環境基盤科)

○休耕田等を活用した湿地ビオトープの環境教育の場としての役割(農業環境部環境基盤科、農政部設計課)

2. 論文ならびに資料

(1) 研究論文、試験成績

作物開発部

○佐藤導謙, 土屋俊雄. 北海道中央部における春播コムギの初冬播栽培に関する研究—窒素施用法が製パン品質に及ぼす影響—. 日本作物学会紀事. 73, p.282-286 (2004).

○村松裕司, 白金茂, 小賀野隆一, 沢田一夫, 稲川 裕, 内田哲嗣, 菅原彰, 吉田昌幸, 井上哲也. オウトウ台木新品種「チシマ台1号」の育成. 北海道立農試集報. 86, p.47-56 (2004).

生産システム部

○安積大治, 渡邊祐志, 菅原 彰, 丹野 久. 衛星リモートセンシングによる米粒タンパクマップの高度化と利活用技術. 平成15年度新しい研究成果—北海道地域—. 北海道農業試験研究推進会議. p.32-36 (2004).

○後藤英次, 宮森康雄, 長谷川進, 稲津 脩. 寒地水田における稲わら分解促進と水管理によるメタン発生軽減効果. 日本土壌肥科学雑誌. 75, p.191-201 (2004).

○後藤英次, 平井 剛, 中村隆一. メロン実くずれ果の発生要因と抑制対策. 北農. 711, p.213-220 (2004).

○岡田直樹, 前田博之. 飼料作分業化に向けた自生的ネットワークの形成と支援. 北海道立農業試験場集報. 86, p.73-81 (2004).

○白井康裕, 大久保進一, 兼平 修, 川岸康司, 岸田幸也, 北畠国昭, 添島 均, 田中里枝. トマト新規導入産地の振興方策. 北海道立農業試験場集報. 86, p.27-37 (2004).

○白井康裕. 道央水田地帯におけるアスパラガス立茎栽培の定着条件. 農業経営通信. 221, p.2-5 (2004).

○白井康裕. たまねぎ YES ! clean 産地の育成・定着手法. 平成15年度新しい研究成果—北海道地域—. 北海道農業試験研究推進会議. p.16-19 (2004).

○白井康裕. たまねぎ YES ! clean 産地の育成・定着手法. 農業低温科学研究情報. 11, p.31-34 (2004).

○白井康裕, 松澤光弘, 松谷智美. 物流 ABC 分析を活用した野菜産地発展への提言. 北海道農業普及研究. 19, p.35-41 (2005).

○竹中秀行, 原 令幸, 関口建二, 原 圭祐. 大豆のコンバイン収穫技術—汚粒の少ない収穫条件—. 農業機械学会北海道支部会誌. 44, p.65-70 (2004).

○Umetsu, K., Kimura, Y., Takahashi, J., Kishimoto, T., Kojima, T. and Young, B. Methane emission from stored

dairy manure slurry and slurry after digestion by methane digester. Animal Science Journal, 76, p.73-79 (2005).

クリーン農業部

○橋本庸三. 北海道におけるフタオビコヤガの要防除水準 I 切要処理による被害解析と要防除水準. 北日本病害虫研究会報. 55, p.155-159 (2004).

○橋本庸三. 北海道におけるフタオビコヤガの要防除水準 II 発生モニタリング法. 北日本病害虫研究会報. 55, p.160-162 (2004).

○岩崎暁生. アシグロハモグリバエに対する数種薬剤の殺虫効果. 北日本病害虫研究会報. 55, p.236-239 (2004).

○岩崎暁生. アシグロハモグリバエ北海道個体群の短日条件に対する反応と低温耐性. 北日本病害虫研究会報. 55, p.240-241 (2004).

○Miura, K., Takagi, Y., Ohtaishi, M., Iwasaki, A. Application of Molecular Techniques to Distinguish *Liriomyza trifolii* from *L. sativae* (Diptera: Agromyzidae) on Tomato Cultivation in Japan. Journal of Economic Entomology, 95, p.964-969 (2004).

○田中民夫, 他. ジャガイモそうか病の総合防除. 平成15年度新しい研究成果—北海道地域—. 北海道農業試験研究推進会議. p.99-104 (2004).

○田中民夫, 田村 元, 稲野一郎, 桃野 寛, 松永 浩, 木口忠彦, 鈴木慶次郎, 志賀弘行, 大波正寿, 藤田涼平, 美濃健一, 相馬 潤, 田中文夫. ジャガイモそうか病の発生程度に対応した総合防除. 北農. 713, p.134-140 (2005)

○安岡眞二. ネギべと病の発生が収量と品質に与える影響. 北日本病害虫研究会報. 55, p.72-74 (2004).

農業環境部

○赤司和隆, 今野一男, 大塚博志. 網走地方における緑肥作物の栽培特性. 北農. 712, p.30-35 (2005).

○北川 巖, 竹内晴信. 掘削型無材暗きょを用いた農耕地の低コスト排水改良技術. 平成14年度新しい研究成果—北海道地域—. 北海道農業試験研究推進会議. p.119-124 (2004). (前年度記載漏れ)

○北川 巖, 竹内晴信. 十勝岳泥流地帯における暗きょ管閉塞要因の解明と回避対策. 平成14年度新しい研究成果—北海道地域—. 北海道農業試験研究推進会議. p.125-130 (2004). (前年度記載漏れ)

○北川 巖, 竹内晴信. 石狩川流域における客土資源の分布と汎用田に対する利用指針. 平成15年度新しい研究成果—北海道地域—. 北海道農業試験研究推進会議. p.120-127 (2004).

○北川 巖, 竹内晴信, 横井義雄. 無材暗きょによる低

コスト排水改良技術. 日本土壌肥科学雑誌. 75, p.483-486 (2004).

○三枝俊哉, 松本武彦, 三木直倫, 實示戸雅之, 大塚省吾, 岡元英樹, 二門 世, 奥村正敏, 木曾誠二, 渡部敢, 田村 忠, 阿部英則, 前田善夫. チモシー草地におけるふん尿主体施肥設計法. 北農. 712, p.3-10(2005).

○須田達也, 高橋 慎, 竹内晴信. 水田跡地を活用した湿地バイオトープの生物生息および水質浄化機能の評価. 北農. 712, p.43-50(2004).

○須田達也, 高橋 慎, 竹内晴信. 水田跡地に創出した湿地バイオトープの機能評価ー生物多様性保全と水質浄化機能ー. 農業土木北海道. 27, (2005). (印刷中)

農産工学部

○奥村 理. 北海道産春まきコムギの品質と製パン性に及ぼす窒素施肥量と収穫時期の影響. 日本土壌肥科学雑誌. 75, p.307-312(2004).

○谷藤 健, 加藤 淳. 北海道産大豆の成分特性および豆腐加工適性の評価. 北海道立農試集報. 86, p.39-46 (2004).

技術普及部

○Fueki, N., Tani, M., Higashida S. and Nakatsu, S. Effect of soil acidity and nitrification of fertilizer introduced by row application on sugar beet growth in several soil types. Soil sci. Plant Nutr., 50, p.321-329(2004).

○中津智史, 東田修司, 沢崎明弘. 耕盤層の簡易判定法と幅広型心土破碎による対策. 日本土壌肥科学雑誌. 75. p.265-268(2004).

(2) 口頭発表

作物開発部

○吉良賢二. テンサイ黒根病抵抗性圃場検定法の確立. 第2回てん菜研究会講演発表要旨集. p27-28(2004).

○鴻坂扶美子, 渡邊祐志, 田中義則, 寺元信幸. 根粒着生不良条件下における窒素追肥が大豆の収量・品質に及ぼす影響. 日本育種学会・日本作物学会北海道談話会報. 45, p.83-84(2004).

○佐藤導謙, 渡邊祐志, 安積大治, 寺元信幸. 春播コムギの初冬播栽培 4. 窒素施肥が「春よ恋」の生育・収量に及ぼす影響. 日本育種学会・日本作物学会北海道談話会報. 45, p.61-62(2004).

生産システム部

○原 圭祐. 小豆の機械収穫早限と乾燥調製. 平成 17 年道央圏農業新技術発表会講演要旨. p.27-28(2005).

○梶原靖久, 田中一生, 田中英彦, 大坪耕介, 岩間和人,

寺内方克. 北海道水稲主要栽培品種間における窒素反応性の差異ー特に、多窒素条件下での子実収量. 日本育種学会・作物学会北海道談話会報. 45, p.17-18(2004).

○岡田直樹. 民間サプライヤーとの農作業分業化と制御～調整組織の機能と持続安定化のメカニズム～. 北海道農業経済学会. 北海道農業経済研究. 11-2, p.80(2004).

○岡田直樹. 水稲直播の作業受委託による展開の方向. 第7回道南農業新技術発表会要旨. p.9-10(2005).

○白井康裕. 環境保全型たまねぎ生産の現状と今後の展開方向. 日本農業経営学会研究大会. p.337-340(2004).

○白井康裕. 集出荷コストの削減を目指した野菜産地の育成. 北海道農村生活研究大会. p.14-15(2004).

○菅原 彰, 佐々木亮, 古原 洋. 北海道における水田雑草の耕種的防除法の研究 2. 2 回代かきによる雑草防除. 日本作物学会紀事. 73別2. p.100-101(2004).

クリーン農業部

○青木元彦, 橋本庸三. 北海道胆振・日高地方におけるジウシホシクビナガハムシの発生消長. 第58回北日本病害虫研究発表会(2005).

○岩崎暁生, 三宅規文. 多発生条件下におけるネギアザミウマの分散距離と飛翔高度. 第58回北日本病害虫研究発表会(2005).

○成松靖, 松本勇, 酒井紀彰, 安岡眞二. タマネギベと病の特異発生と減収割合. 平成16年度北海道園芸談話会発表会(2005).

○齊藤美樹. 北海道の施設栽培きゅうりにおける天敵利用事例. 第14回天敵利用研究会講演要旨. p.9(2004)

○白井佳代. 北海道における水稲の発生対応型防除のための葉いもち防除の開始時期. 第57回北日本病害虫研究発表会(2004).

○新村昭憲. *Stemphylium* sp.によるゴボウアザミ斑点病の発生. 第58回北日本病害虫研究発表会(2005)

○相馬 潤. 北海道の春まき小麦に発生した *Fusarium graminearum* のマイコトキシン(DON, NIV)産生能. 2004年度赤かび病研究会(2004).

○相馬 潤. コムギ外観健全粒のデオキシニバレノール濃度と *Fusarium graminearum* 分離率の推移. 第58回北日本病害虫研究発表会(2005).

○田中文夫. 本邦に分布するジャガイモそうか病菌の同定と土壌中の菌量の定量法. 馬鈴しょそうか病に関する国際シンポジウム. p.66-75(2004)

○Tanaka, T. Integrated Control of Potato Scab According to Incidence levels. Proceedings of the international Potato Scab Symposium (IPSS 2004), p.243-258(2004).

農業環境部

○北川 巖. 畑地に対する排水改良技術の進展. 平成 16 年度北海道土壌肥料協議会現地検討会シンポジウム資料. p.25-39(2004).

○北川 巖. 土壌の生産力維持向上に向けた地域資源の有効活用. 堆肥センター運営シンポジウム資料. p.1-19(2004).

○Kitagawa, I. and Takeuchi, H. The Mechanism and Countermeasure for a Clogged Underdrain Pipe in a Low pH Area Consisting of Mudflow from Mt.Tokachi-dake. The 6th International Symposium on Plant-Soil Interactions at Low pH(Sendai,Japan), p.330-331(2004).

○木曾誠二. 環境調和型農業実践のための施肥基準の見直しの視点③北海道クリーン農業における施肥基準策定の論理. 平成 16 年度関東東海北陸農業試験研究推進会議-関東東海・土壌肥料部会資料-. 中央農業総合研究センター. p.79-89(2005).

○松本武彦, 唐 星児. 化学肥料および有機物を長期連用した土壌の理化学性がダイズのカドミウム濃度に及ぼす影響. 日本土壌肥料学会講演要旨集. 50, p. 84(2004).

○松本武彦, 唐 星児. 化学肥料および有機物を長期連用した土壌の理化学性がコムギのカドミウム濃度に及ぼす影響. 日本土壌肥料学会北海道支部秋季大会講演要旨集. p.21(2004).

○志賀弘行, 鈴木慶次郎. 馬鈴しょそうか病に対する土壌交換酸度、有機物施用、緑肥の影響. 馬鈴しょそうか病に関する国際シンポジウム(IPSS 2004)講演・ポスターセッション要旨集. p.238-242(2004).

○Shiga, H. and Suzuki, K. Effect of soil acidity, organic soil amendment and green manure on potato scab. Proceedings of the international Potato Scab Symposium (IPSS 2004), p.233-237(2004).

○須田達也, 丸山博子. 農村地帯に創出した湿地ビオトープでの環境教育に関する事例調査. 第 53 回農業土木学会北海道支部研究発表会講演集. p.82-87(2004).

○竹内晴信, 小林英徳, 吉江勝彦. 畑地かんがいモデル試験における作物増収効果. 第 53 回農業土木学会北海道支部研究発表会講演集. p.186-191(2004).

○竹内晴信, 渡邊祐志, 小杉 裕, 南部一善. 土地改良事業におけるケイ酸資材多量投入の効果(総括). 第 21 回農業土木新技術検討報告会要旨集. p.89-97(2004).

○塚本康貴, 竹内晴信. シリンダーインテークプレート法を用いた水田転換畑の土壌物理性評価と大豆生育収量に及ぼす影響. 第 53 回農業土木学会北海道支部研究発表講演集. p.192-197(2004).

○唐 星児, 松本武彦, 日笠裕治. 小河川流域における

農地の窒素収支が河川水の窒素濃度に及ぼす影響-道央の農業形態の異なる地域における事例-. 日本土壌肥料学会講演要旨集. 50, p.5(2004).

農産工学部

○堀田治邦, 佐々木純. 北海道におけるトルコギキョウえそ斑紋病の発生. 日本植物病理学会報. 71, p.83(2005).

○加藤 淳, 相馬ちひろ, 小嶋道之. 小豆の抗酸化活性の変動要因と簡易評価技術. 第 10 回豆類利用研究会講演要旨集. p.22-23(2004).

○加藤 淳. 光センサーを利用したばれいしょのでん粉価測定法. 北海道食品産業総合展技術成果発表要旨集. p.9(2004).

○加藤 淳. 小豆および菜豆の加工適性と変動要因の解明. 平成 16 年度全国食品関係試験研究機関場所長会・優良研究・指導業績表彰受賞者業績概要集. p.1-3(2005).

○ Kato, J. PRESENT STATUS AND FUTURE PROSPECTS OF FOOD PRODUCTION AND QUALITY EVALUATION IN JAPAN. Proceedings for International Seminar on Developing Agricultural Technology for Value-added Food Production in Asia., p.77-80(2004).

○佐々木純, 竹内 徹, RT-LAMP 法によるトマト黄化えそウイルスの検出. 日本植物病理学会報. 71, p.82(2005).

○奥村 理. 低アミロ小麦の発生要因と品質特性. 第 50 回シンポジウム「北海道産小麦の将来展望」北海道土壌肥料研究通信. 145, p.31-37(2004).

○奥村 理. ドライケミストリー法を用いた小麦 α -アミラーゼ活性測定システムの開発と品質評価区分. 第 9 回穂発芽研究会ワークショップ. p.33-34(2004).

○鈴木孝子, 竹内 徹. 春まき小麦の赤かび病抵抗性 DH 系統の作出と DNA マーカー解析. 2004 赤かび研究会資料. p.29-33(2004).

○鈴木孝子, 竹内 徹, 藤田正平, 島田尚典, 佐藤 毅. アズキ落葉病抵抗性遺伝子連鎖マーカーの AFLP 解析. 日本植物病理学会報. 71, p.81(2005).

○相馬ちひろ, 加藤 淳, 石崎克典. ながいも品質に及ぼす台風 18 号の影響. 日本食品科学工学会北海道支部大会講演要旨集. p.11(2005)

○谷藤 健, 加藤 淳. 北海道における大豆イソフラボン含量の品種および栽培地による差異. 日本テンペ研究会平成 16 年度春季大会講演集. p.3-1-3-2(2004).

○谷藤 健, 加藤 淳. 道産大豆の豆腐加工適性(硬さ)の簡易評価法. 日本食品科学工学会北海道支部大会講演

要旨. p.8(2005).

○吉井孝光, 鈴木孝子, 竹内 徹, 藤田正平, 島田尚典, 近藤則夫, 内藤繁男. アズキ落葉病抵抗性に連鎖した DNA マーカーの開発. 日本植物病理学会報. 71, p.81 (2005).

<ポスター発表>

○加藤 淳・相馬ちひろ・小嶋道之. 小豆の抗酸化活性の変動要因と簡易評価技術. 平成 16 年度食品関係技術研究会(ポスター発表・つくば市). (2004.9.8)

○加藤 淳・小宮山誠一. 光センサーを利用したばれいしょのでん粉価測定法. 平成 16 年度食品関係技術研究会(ポスター発表・つくば市). (2004.9.8)

○加藤 淳. 生麦を用いたデオキシニバレノール(DON)分析技術. 平成 17 年農業新技術発表会(ポスター発表・札幌市). (2005.2.23)

○小宮山誠一・加藤 淳. 光センサーを利用したばれいしょのでん粉価測定法. アジアにおける農産物の高品質・高付加価値化のための技術開発に関する国際セミナー(ポスター発表・札幌市). (2004.7.13)

○中森朋子・後藤英次・五十嵐俊成. 北海道もち米を用いたもち生地の色と物性評価. アジアにおける農産物の高品質・高付加価値化のための技術開発に関する国際セミナー(ポスター発表・札幌市). (2004.7.13)

○中森朋子. 北海道もち米を用いたもち生地の色と物性評価. 北海道食品産業総合展技術成果発表(ポスター発表・札幌市). (2004.10.14)

○谷藤 健, 加藤 淳. 北海道における大豆イソフラボン含有量の傾向. アジアにおける農産物の高品質・高付加価値化のための技術開発に関する国際セミナー(ポスター発表・札幌市). (2004.7.13)

(3) 専門雑誌記事

作物開発部

○稲川 裕. 誰にでもできるブルーベリーのさし木マニュアル. 農家の友. 662, p.45-47(2004).

○井上哲也. 今月の農作業(果樹). 農家の友. 56(4), p.96. 657, p.88. 658, p.88. 659, p.88. 660, p.80. 661, p.88. 662, p.88. 663, p.96(2004)

○前田 博, 村松裕司, 佐藤 仁, 平成 16 年度主要農作物作況. 北農. 712, p.62-78(2005).

○佐藤 仁. パン用秋まき小麦「キタノカオリ」の栽培法について. 北海道米麦改良. 518, p.5-8(2004).

○佐藤仁. 転作地帯における小麦栽培. あぐりぽーと. 52. ホクレン. p.6(2004).

○佐藤 仁. 地域のたんばく均一化を目指した小麦栽培について. 農家の友. 661, p.68-69(2004).

○佐藤 仁. ベにばないんげん「中育 M52 号」. 北農. 709, p.90(2004).

○佐藤 仁, 佐藤導謙. 麦作良質小麦安定生産へ向けての栽培ポイント! . 北海道米麦改良. 514, p.2-4(2004).

○佐藤導謙. 高収量・高品質を実現させよう～春播小麦の初冬播き栽培. 農家の友. 662, p.70-72(2004).

○佐藤導謙. 麦作 春播小麦の初冬播栽培技術の要点. 北海道米麦改良. 522, p.1-3(2004).

○佐藤導謙. 小麦の地産地消を実現～「江別麦の会」の取り組み. "「青年技術士の役割」～時代を拓く技術～". 青年技術士協議会編. (社)日本技術士会北海道支部・北海道技術士センター, p.38(2004). (第 31 回技術士全国大会(札幌)第 5 分科会資料)

○田中義則. 転作地帯における大豆栽培. あぐりぽーと. 52. ホクレン. p.5(2004).

生産システム部

○金子 剛. 新規参入の動向と現実的課題. デーリィマン. 54(9), p.20-21(2004).

○熊谷 聡, 竹内 稔. 平成 16 年度水稻生産流通調査ー平成 16 年 9 月 8 日「米と酒の謎蔵」(新潟県中頸城郡三和村). 北海道米麦改良. 521, p.8-9(2004).

○後藤英次. メロンの実くずれ果の発生について. 農家の友. 657, p.44-45(2004).

○白井康裕. 野菜経営にマッチした経営管理とは. ニューカントリー. 606, p.38-40(2004).

○白井康裕. 新興トマト産地内における収益格差の発生要因と経営改善策. グリーンレポート. 20(11), p.8-9(2004).

○白井康裕. 道央水田地帯におけるアスパラガス立茎栽培導入の経営指針. 農耕と園芸. 59(11), p.68-70(2004).

○田中英彦. 期待される多様な米づくり. 農家の友. 664, p.74-76(2004).

○田中一生. 新生した「水田農業科」ー道央部水田農業の新たな展開を支えるー. 北農. 712, p.108-109(2004).

○田中一生. 水稻新品種の開発動向と今後の展望. 農業・北海道. 78, p.13-15(2004).

○田中一生. 水稻新品種「ななつぼし」の育成. 北海道米麦改良. 514, p.16-23(2005).

○田中一生. イネ育種と品種(第 16 回)「ななつぼし」. 農耕と園芸. 60(4), p.123(2005).

○白井康裕. 最新のクリーン農業技術ーたまねぎ YES ! clean 産地の育成・定着手法ー. ニューカントリー. 601, p.52-53(2004).

○竹中秀行. 農薬散布時のドリフト防止で環境にやさしい農業. 農家の友. 658, p.46-47(2004).

○竹中秀行. 効率的な野菜収穫一圃場からの運搬・出荷体系から考える. ニューカントリー. 606, P.44-46(2004).

クリーン農業部

○橋本庸三, 白井佳代. 主要水稲病害虫に対する防除要否を判定するためのモニタリング法. ニューカントリー. 604, p.56-57(2004).

○岩崎暁生. ジャガイモシストセンチュウ拡大防止のために. ニューカントリー. 601, p.48-49(2004).

○岩崎暁生. タマネギ, ネギにおけるネギアザミウマの発生と茎葉散布剤の効果. 今月の農業. 48(8), p13-16(2004).

○岩崎暁生. アシグロハモグリバエの発生生態と薬剤感受性. 今月の農業. 48(12), p17-21(2004).

○加藤俊介. 北海道におけるクリーン農業の現状と今後. 種苗界. 57(9), p.2-6(2004).

○齊藤美樹. 施設栽培における IPM の展開. 北海道の施設栽培キュウリにおける天敵農薬の利用法. 今月の農業. 48(10), p.40-44(2004).

○齊藤美樹. 最新のクリーン農業技術. ハウス栽培きゅうりの主要害虫に対する天敵農薬の利用法(1) コレマンアブラバチによる省力的なワタアブラムシの防除法. ニューカントリー. 610, p.72-73(2005).

○齊藤美樹. 最新のクリーン農業技術. ハウス栽培きゅうりの主要害虫に対する天敵農薬の利用法(2) 省力的な害虫発生モニタリングに基づく天敵放飼. ニューカントリー. 611, p.60-61(2005).

○白井佳代. いもち病の防除を無駄なく賢くするために. 農家の友. 658, p.38-39(2004).

○相馬 潤. 北海道における春まきコムギのデオキシニバレノール汚染低減に向けた当面の対策. 植物防疫. 58, p.24-27(2004).

○相馬 潤. 平成 15 年度農林水産業北海道地域研究成果発表会 春まきコムギの赤かびウイルス(DON)汚染低減に向けた当面の対策. ジャパンフードサイエンス. 50 5, p.81-84(2004).

○田中民夫. ジャガイモそうか病の総合防除. 農業低温科学研究情報. 11, p27-30(2004).

○安岡眞二. 本年度, 注意する病害虫と気象予報に基づき多発が予想される病害虫. ニューカントリー. 603, p.46-51(2004).

○北海道病害虫防除所. 平成 15 年度の発生にかんがみ注意すべき病害虫. 北農. 709, p.107-115(2004).

○北海道病害虫防除所. 平成 15 年度北海道で新たに発生を認めた病害虫. 農家の友. 667, p.4-7(2005).

農業環境部

○日笠裕治. 農業由来の地下水汚染を断つーなぜ地下水が汚染されるのか、地下水汚染を抑える土壌・施肥管理. ニューカントリー. 608, p.39-44(2004).

○北川 巖. 北海道における暗きょ排水の現状と今後の対応②. セラミック暗きょ研究. 4, p.1-10(2004).

○北川 巖. 北海道における暗きょ排水の現状と今後の対応③. セラミック暗きょ研究. 5, p.1-11(2004).

○北川 巖. 土壌の生産力維持向上に向けた地域資源の有効活用. 地域と農業. 56, p.5-29(2004).

○木曾誠二. 4月の農作業 土壌肥料. 農家の友. 656, p.97(2004).

○木曾誠二. 5月の農作業 土壌肥料. 農家の友. 657, p.89(2004).

○木曾誠二. 6月の農作業 土壌肥料. 農家の友. 658, p.89(2004).

○木曾誠二. 7月の農作業 土壌肥料. 農家の友. 659, p.89(2004).

○木曾誠二. 8月の農作業 土壌肥料. 農家の友. 660, p.81(2004).

○木曾誠二. 9月の農作業 土壌肥料. 農家の友. 661, p.89(2004).

○木曾誠二. 10月の農作業 土壌肥料. 農家の友. 662, p.89(2004).

○木曾誠二. 11月の農作業 土壌肥料. 農家の友. 663, p.97(2004).

○木曾誠二. 12月の農作業 土壌肥料. 農家の友. 664, p.97(2004).

○志賀弘行. 北海道における農業リモートセンシングの進展. 季刊肥料. 99, p.24-29(2004).

○竹内晴信. 転作地帯に向けた畑作技術～畑地化に向けた土壌管理. あぐりぽーと. 52, p.3-4(2004).

農産工学部

○紙谷元一, 佐々木純. 生物工学セミナー(57). 北農. 710, p.183(2004).

○紙谷元一, 鈴木孝子. 生物工学セミナー(58). 北農. 711, p.243(2003).

○奥村 理. ドライケミストリー法を用いた小麦 α -アミラーゼ活性測定システムの開発と品質評価区分. 農流技研会報. 258, p.14-16(2004).

○佐々木純. 北海道のユリに発生するウイルスの遺伝子解析と診断技術. ニューカントリー. 610, p.74-75(2004).

- 竹内 徹, 平井 泰. 生物工学セミナー(59). 北農. 712, p.98(2005).
- 谷口健雄. どこまで可能か商品情報. ニューカントリー. 607, p.39-41(2004).

技術普及部

- 東田修司. 稲わらの堆肥化と利用法. 農家の友. 661, p.38-40(2004).
- 東田修司. 食味向上のためにわらの搬出に取り組もう. 北海道米麦改良. 521, p.1-4, p.38-40(2004).
- 東田修司. 北海道の小麦生産 Q & A. ニューカントリー 2003 年夏期増刊号 北海道の小麦 Q & A. p.52-57. (2003). (前年度記載漏れ)
- 東田修司. 北海道で開発された新しい技術と品種. 農家の友. 667, p.27-29(2005).
- 東田修司. 第 4 章 高品質生産に向けた栽培技術、7 施肥量と根粒菌. 明日の豆作り. 財団法人日本豆類基金協会, p.66-69(2005).
- 井原澄男. よくわかる Q & A, ニューカントリー. 608, p.86-87(2004).
- 岩田俊昭. 良質米栽培のポイント. 北海道米麦改良. 515, p.4-5(2004).
- 黒川晃次. プルーン栽培事情. 農家の友. 663, p.70-71(2004).
- 黒川晃次. 16 年産を総括する 果樹. 農家の友. 664, p.48-49(2004).
- 黒川晃次. 特集がんばれ! 北海道の花と果樹 果樹. ニューカントリー. 609, p.22-23(2004).
- 三宅俊秀. 融雪促進. 北海道米麦改良. 525, p.14-16(2005).
- 黒川晃次. 特集 V 2005 作物展望 果樹. ニューカントリー. 610, p.112 - 113(2005).
- 長浜恵. 今月の技術対策、6 月以降の病害虫防除について. 北海道米麦改良. 515, p.21-24(2004).
- 西海豊顕. 濃厚飼料を使いこなそう～経済性から見た有効利用と調達法・自給飼料の質が重要なポイントに. デーリイマン. 54(5), p.80-81(2004)
- 西海豊顕. 今月の技術「酪農経営を考える」. デーリイマン. 55(2), p.64(2005).
- 西海豊顕. 今月の技術「酪農経営を考える II」. デーリイマン. 55(3), p.76(2005).
- 田中義春. MUN で知っておくと得すること. デーリイジャパン. 49, p.10-13(2004).
- 田中義春. 多頭数を効率的にモニタリングする. ホルスタイン. 420, p.4-8(2004).
- 田中義春. とうもろこしサイレージの特徴を生かす給

- 与, デーリイジャパン. 50, p.41-44(2005).
- 田中義春. 酪農場から気がついたこと・教えられたこと「乾乳日数とボデイコンデションスコアを考える」. デーリイジャパン. 49, p.58-60(2004).
- 田中義春. 酪農場から気がついたこと・教えられたこと, 「牛を清潔にする」, デーリイジャパン 49, p.31-33(2004).
- 柳山浩之. よくわかる Q & A, ニューカントリー. 610, p.90-91(2005).
- 柳山浩之, 志賀弘行, 大久保利道, 田中静幸, 美濃健一, 柳田大介, 土屋俊雄, 押切克彦. たまねぎの産地調整における望ましいすき込み方法, 北農. 711, p.197-200(2004).

企画情報室

- 古原 洋. 北海道における有機栽培の現状と問題点. 農家の友. 656, p.46 - 47(2004).
- 古原 洋. 有機農業試験研究検討会の開催について. 農家の友. 667, p.40 - 41(2005).
- 古原 洋. 主要作物における有機栽培の実態(1). 北海道有機農研. 57, p.3 - 4(2004).
- 古原 洋. 主要作物における有機栽培の実態(2). 北海道有機農研. 58, p.3 - 4(2004).

(4) 著編書資料

作物開発部

- 吉良賢二. 平成 15 年夏季の低温とその後の気象が農作物に及ぼした影響に関する調査報告書. 天野洋一・前田 博編. 北海道立農業試験場資料. 33, p.199-202(2004).
- 吉良賢二. 平成 15 年夏季の低温とその後の気象が農作物に及ぼした影響に関する調査報告書. 天野洋一・前田 博編. 北海道立農業試験場資料. 33, p.211-212(2004).
- 三好智明. 平成 15 年夏季の低温とその後の気象が農作物に及ぼした影響に関する調査報告書. 天野洋一・前田 博編. 北海道立農業試験場資料, 33. p.117-122(2004).
- 佐藤 仁. 新しい小麦づくり【2004 年度版】. (社)北海道米麦改良協会. p.90-93(2004).
- 佐藤 仁. 新しい小麦づくり【2004 年度版】. (社)北海道米麦改良協会. p.163-167(2004).
- 佐藤導謙, 佐藤 仁, 安積大治, 相馬 潤. 平成 15 年夏季の低温とその後の気象が農作物に及ぼした影響に関する調査報告書. 天野洋一・前田 博編. 北海道立農

業試験場資料. 33, p.185-190(2004).

○佐藤導謙. 新しい小麦作り【2004 年度版】. (社)北海道米麦改良協会, p.168-170(2004).

生産システム部

○安積大治. 新しい小麦づくり【2004 年度版】. (社)北海道米麦改良協会. p.174-176(2004).

○安積大治, 熊谷 聡. 平成 15 年夏季の低温とその後の気象が農作物に及ぼした影響に関する調査報告書. 天野洋一・前田 博編. 北海道立農業試験場資料. 33, p.60-63(2004).

○原 圭祐. 新しい小麦づくり【2004 年度版】. (社)北海道米麦改良協会. p.61-65(2004).

○金子 剛. 平成 15 年夏季の低温とその後の気象が農作物に及ぼした影響に関する調査報告書. 天野洋一・前田 博編. 北海道立農業試験場資料. 33, p.81-87(2004).

○岡田直樹. 平成 15 年夏季の低温とその後の気象が農作物に及ぼした影響に関する調査報告書. 天野洋一・前田 博編. 北海道立農業試験場資料. 33, p.74-81(2004).

○竹中秀行. 平成 17 年産に向けての米づくり. 北海道米麦改良協会. p.113-132(2005).

○竹中秀行. 新しい小麦づくり【2004 年度版】. (社)北海道米麦改良協会. p.72-80(2004).

クリーン農業部

○青木元彦. 北海道の病害虫と防除(分担執筆). 北海道共同組合通信社, 札幌, p.321(2004).

○橋本庸三. 北海道の病害虫と防除(分担執筆). 北海道共同組合通信社, 札幌, p.321(2004).

○橋本庸三. 平成 15 年夏季の低温とその後の気象が農作物に及ぼした影響に関する調査報告書. 北海道立農業試験場資料. 33, p.69-72(2004).

○岩崎暁生. 北海道の病害虫と防除(分担執筆). 北海道共同組合通信社, 札幌, p.321(2004).

○齊藤美樹. 北海道の病害虫と防除(分担執筆). 北海道共同組合通信社, 札幌, p.321(2004).

○白井佳代. 北海道の病害虫と防除(分担執筆). 北海道共同組合通信社, 札幌, p.321(2004).

○白井佳代. イネ葉しょう褐変病, イネ褐変穂. 北海道病害虫防除提要. 北海道植物防疫協会発行, p.42, p.54(2004).

○新村昭憲(分担執筆). 北海道の病害虫と防除. 北海道共同組合通信社, 札幌, p.321(2004).

○角野晶大. 北海道の病害虫と防除(分担執筆). 北海道共同組合通信社, 札幌, p.321(2004).

○角野晶大. コムギ眼紋病, ダイズ斑点細菌病, アズキ褐斑細菌病, ジャガイモ半身萎凋病, スイカ半身萎凋病,

ネギ小菌核腐敗病, ヤーコン半身萎凋病. 北海道病害虫防除提要. 北海道植物防疫協会. 同発行, p.134, 172, 192, 247, 384-385, 456, 511(2004).

○角野晶大. 新しい小麦づくり【2004 年度版】. (社)北海道米麦改良協会. p.132-133, p.249-250(2004).

○角野晶大. ムギ眼紋病, ダイズ菌核病, ダイズ茎疫病, アズキ茎疫病. 農業総覧防除・資材編追録第 9 号. 農山漁村文化協会編. 同発行, p.539-541, P.673-680, P.809-812(2004).

○角野晶大. ヒマワリ半身萎凋病. 農業総覧花卉病害虫診断編・追録第 2 号. 農山漁村文化協会編. 同発行, p.228-230(2004).

○相馬 潤. 北海道の病害虫と防除(分担執筆). 北海道共同組合通信社, 札幌, p.321(2004).

○相馬 潤. 赤かび病. 2004 年版農業技術体系作物編畑作基本編・ムギ. 農山漁村文化協会編. 同発行, p.237-241(2004).

○相馬 潤. ダイズ黒根腐病, タマネギ白斑葉枯病, ゴボウそうか病, ニンジンストレプトミセスそうか病, ゴボウアザミ半身萎凋病. 北海道病害虫防除提要. 北海道植物防疫協会. 同発行, p.177, p.447, p.479-480, p.492, p.510(2004).

○Souma, J. Control of Deoxynivalenol Contamination of Spring Wheat in Hokkaido. New Horizon of Mycotoxicology for Assuring Food Safety(Proceedings of International Symposium of Mycotoxicology in Kagawa 2003). Edited by Takumi Yoshizawa. Japanese Association of Mycotoxicology, p.77-82(2004).

○田中民夫. 北海道の病害虫と防除(分担執筆). 北海道共同組合通信社, 札幌, p.321(2004).

○田中文夫. 新しい小麦づくり【2004 年度版】. (社)北海道米麦改良協会. p.188-123(2004).

○田中文夫. 北海道の病害虫と防除(分担執筆). 北海道共同組合通信社, 札幌, p.321(2004).

○鳥倉英徳. 北海道の病害虫と防除(分担執筆). 北海道共同組合通信社. 札幌. p.321(2004).

○安岡眞二(分担執筆). 北海道の病害虫と防除. 北海道共同組合通信社, 札幌, p.321(2004).

農業環境部

○實示戸雅之, 松本武彦. 土壌有機物および家畜排泄物に関する調査法, 家畜排泄物, 家畜排泄物施用量の決定方法. 草地科学実験・調査法. 日本草地学会編. 全国農村教育協会, p.416-417(2004).

○今野一男. 収穫跡地の管理. 新しい小麦づくり【2004 年度版】. (社)北海道米麦改良協会. p.115-117(2004).

○今野一男. 複雑な炭の性質. “土・作物を変える不思議パワー 炭”. 別冊現代農業. 農文協発行, p.37-40 (2004).

○松本武彦. 草本類の生理・生態に関する調査法, 養分動態, 15N を指標とした N の動態の調査法, 15N 標識牛ふん堆肥の製造法. 草地科学実験・調査法. 日本草地学会編. 全国農村教育協会, p.100(2004).

○松本武彦. 土壌有機物および家畜排泄物に関する調査法, 家畜排泄物, 多量要素. 草地科学実験・調査法. 日本草地学会編. 全国農村教育協会, p.413-415(2004).

○松本武彦. 家畜ふん尿を有効利用する粗飼料生産. “貯蔵飼料からの乳生産 ー土地面積当たりで考えるー”. 松中照夫編著. 酪農総研選書 79. 酪農総合研究所発行, p.15-33 (2004).

○志賀弘行. 新しい小麦づくり【2004 年度版】. (社)北海道米麦改良協会. p.110-114(2004).

○須田達也, 山本忠男. 土地利用と地域環境. 北海道の農業と農村ー寒冷な環境の克服ー. 農業土木学会北海道支部創立 50 周年記念出版企画委員会編, p.159-163 (2004).

○竹内晴信. 環境・土壌の物理性編の利用にあたって. “北海道農業を支える土づくりパートⅡ. 土づくり Q & A. 総括編”. 北海道農政部監修. 北海道農協「土づくり」運動推進本部発行, p.4-5 (2004).

農産工学部

○加藤 淳. 北海道・東北の地域特産物, Ⅱアズキ, 「地域特産物の生理機能・活用便覧」. サイエンスフォーラム社, p.25-29(2004).

○加藤 淳. 豆類の品質評価, 「小豆・菜豆栽培の技術変遷と展望」. 全国豆類振興会, p.53-76(2004).

○加藤 淳. 豆類の品質. 「明日の豆作り」(平成 17 年豆作り講習会テキスト). 豆類基金協会, p.21-36 (2005).

○加藤 淳. 機能性食品としてのアズキ, オーストラリアのアズキ, アズキの品質評価, アズキの抗酸化活性, 「北海道アズキ物語」. 北海道アズキ物語出版委員会. p.30-31, p.87-89, p.225-227, p.236-239(2005).

○谷藤 健. 新しい小麦づくり【2004 年度版】. (社)北海道米麦改良協会. p.161-162, p.203-209(2004).

技術普及部

○東田修司. 土づくり研修会共通資料. 土づくり Q&A. 第三編 生物性編. 北海道農協「土づくり」運動推進本部, p.26-27, p.30-33, p.78-79(2003). (前年度記載漏れ)

○東田修司. やさしい施肥管理の手引きー畑作編ー. ホクレン, p.29-33(2004). (前年度記載漏れ)

○東田修司. 小麦テキスト「良質小麦栽培のための施肥および土壌管理」. 平成 15 年度資料第 1 号. 北海道の小麦作り. 北海道米麦改良協会, p.51-74(2004).

○東田修司. 北海道におけるたい肥利用事例, たい肥施用コーディネーター養成研修, 講義実習用テキスト(4). 畜産環境整備機構, p.57-76(2004).

○東田修司. 平成 17 年産に向けての米づくり. 北海道米麦改良協会, p.93-112(2005).

○東田修司. 小麦テキスト「良質小麦栽培のための土壌および施肥管理」. 平成 15 年度資料第 2 号. 北海道の小麦作り. 北海道米麦改良協会, p.49-70(2004).

○岩田俊昭. 平成 17 年産に向けての米づくり. 北海道米麦改良協会. p.31-43(2005)

○三宅俊秀. 第 4 章 高品質生産に向けた栽培技術, 4 排水対策. 明日の豆作り. 財団法人日本豆類基金協会. p.42-47(2005).

○三宅俊秀. 春播小麦の栽培法(転換畑). 北海道の小麦作り. 社団法人北海道米麦改良協会. p.139-146(2005).

○三宅俊秀. 春播小麦の安定生産に向けて. 北海道米麦改良協会編. P.1-4(2004).

○長濱 恵. 小麦テキスト「小麦の病害とその防除法」. 平成 16 年度資料第 2 号. 北海道の小麦作り. 北海道米麦改良協会, p.95-125(2005).

○田中義春. 飼養管理から疾病・繁殖を改善するー治療から予防という発想ー. デーリィ・ジャパン社. P1-120 (2004).

○田中義春. とうもろこしサイレージの特徴を生かす給与. デントコーンブック. シンジェンタジャパン社. P2-4 (2005).

○柳山浩之. アスパラガス立茎栽培. 日高支庁部門別総合研修資料(2004. 5)

○柳山浩之. 事例農場の生産技術改善事項の整理手法と支援時の留意点. 平成 16 年度改良普及員経営技術力研修資料(2004.6)

○柳山浩之. 寒冷地における夏秋どりいちごの栽培技術. 平成 16 年度専門技術員国内留学研修報告書(2004.9)

○柳山浩之. 寒冷地における夏秋どりいちごの栽培技術. 第 8 回北海道いちごセミナー資料(2004.9)

○柳山浩之. 平成 16 年度台風 18 号による農業被害に実態(園芸). 平成 16 年度北海道農業試験研究推進会議本会議資料(2005.1)

○柳山浩之, 竹中秀行. 平成 16 年台風 18 号による農作物等の被害実態調査及び今後の技術対策 施設(園芸). 北海道農政部, p.71-81, p.117-119(2005)

○柳山浩之. 平成 16 年台風 18 号被害の実態と対策. 花

づくりセミナー 2005 資料(2005.3)

企画情報室

○浅山 聡. 新しい小麦作り【2004 年度版】. (社)北海道米麦改良協会. p.171-173(2004).

○高宮泰宏. 平成 15 年夏季の低温とその後の気象が農作物に及ぼした影響に関する調査報告書. 天野洋一・前田 博編. 北海道立農業試験場資料. 33, p.1-10(2004).

(5) 新聞等記事

作物開発部

○稲川 裕. 誰にでもできるブルーベリーのさし木. 北海道の果樹. 16, p.5(2004).

○井上哲也. 北海道期待の新品種 オウトウ「HC1」. 日本農業新聞(2005.3.25).

○佐藤 仁. パン用秋まき小麦キタノカオリ良質・安定生産のための栽培技術. 農業共済新聞 (2004.5.31).

○佐藤 仁. 秋まき小麦の大豆畦間播種栽培. 農業共済新聞(2004.7.2).

○佐藤 仁. 「キタノカオリ」の栽培法～上～. 経営と技術. 日本農業新聞(2005.2.15).

○佐藤 仁. 「キタノカオリ」の栽培法～下～. 経営と技術. 日本農業新聞(2005. 2. 15).

生産システム部

○菅原 彰. 水田雑草減らす 2 回代かき法. 日本農業新聞(2004.12.18).

○竹中秀行. 小豆のコンバイン収穫一適期作業で品質維持を. 農業共済新聞(2004.8.25).

クリーン農業部

○白井佳代. 葉いもち～万全な対策で減農薬栽培を. 農業共済新聞(2004.6.23).

農業環境部

○竹内晴信. 来年につなげる収穫後の圃場管理. 農業共済新聞(2004.9.15).

○唐 星児. 防ごう！河川水の窒素汚染(上・中・下). 日本農業新聞(2004.12.9-11).

農産工学部

○加藤 淳. 小豆の抗酸化活性. 農業共済新聞(2004.5.26).

技術普及部

○岩田俊昭. 2004 年度農業の検証(稲作・道央). 日本農業新聞(2004.12.21).

○黒川晃次. 2004 年度農業検証(果樹). 日本農業新聞(2005.1).

○三宅俊秀. 2004 年度農業の検証(麦作・道央). 日本

農業新聞(2005.1).

○三宅俊秀. 2004 年度農業の検証(大豆). 日本農業新聞. (2005.1).

○田中義春. 牛を健康に保ち繁殖を良好に. 北海道農業新聞(2005.1.24).

企画情報室

○古原 洋. 有機農業の技術的課題と試験研究 上. 農業共済新聞(2004.6.9).

○古原 洋. 有機農業の技術的課題と試験研究 下. 農業共済新聞(2004.6.16).